

2021年1月25日
株式会社アダストリア

2021年2月期第3四半期決算 FAQ

12月29日（火）の2021年2月期第3四半期決算発表後、メディア、アナリスト、機関投資家のみなさまからいただいた主なご質問をまとめました。

■業績について

Q. 第3四半期の業績を知りたい。

A. 第3四半期の3ヶ月では、グループ連結で減収増益となりました。収益面では、「適時・適価・適量」の安定運営と販売状況を見極めながら在庫コントロールに努めた結果、無理な値下げをすることなく、利益改善につながりました。販管費については、業績に応じた人件費のコントロール、販促計画の見直しや店舗家賃の減免、イベント開催形式の変更や不要不急の支出を抑制しました。

Q. 9月から11月の販売状況と、今後の見通しをどう見ているか。

A. 9月は、後半よりGO TO キャンペーン等の効果もあり、外出需要が増えて客数が回復傾向となりました。10月は、気温の低下に合わせて市場のニーズと合致した商品提案ができ、秋冬商品がバランスよく売れていました。11月は、冬商戦が本格化するタイミングが新型コロナウイルス感染症の再拡大と重なり、客数が減少しました。開示済みの12月月次においても客数への影響は継続しており、感染拡大状況を注視しています。

■在庫について

Q. 在庫状況を知りたい。

A. 「適時・適価・適量」の仕組みが機能しており、計画から生産・調達までのオペレーションを円滑にまわすことで健全な在庫水準を維持することができています。売上の状況に応じて発注量を決定しており、適切に在庫コントロールをしております。

■ECについて

Q. ECの取り組みを知りたい。

A. EC強化の取り組みが奏功し、引き続き順調に推移しています。国内単体では、「STAFF BOARD」参加スタッフ数の増員や店舗数の増加をすることによる経由売上が約半分を占めています。EC専門ブランドを運営する子会社BUZZWIT社が好調に推移しています。主力ブランドに加えて、新規ブランド開発などを積極的に推し進め、継続的に事業を拡大しています。

Q. デジタル化の具体的な内容を知りたい。

A. 販売領域では、「STAFF BOARD」でのオンライン接客やキャッシュレスの推進、商業施設とのシステムとの連携による販売スタッフのレジ締め作業の簡素化を努めており、生産領域では、検品所、工場とのデータ連携による業務効率化を図る等に取り組んでいます。新しい生活様式を踏まえたオフィス働き方改革では、リモートワークの推進、社員間コミュニケーションツールの整備等を積極的に対応しております。

■海外について

Q. 海外地域別の状況及び展望について知りたい。

A. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く香港、韓国、米国は減収となりましたが、比較的に影響の少なかった中国、台湾では好調に推移し増収となりました。その中で、中国は昨年12月に、ニコアンド上海2号店を南京西路にオープンしました。今後の展望としては、これらの旗艦店と併せてEC販売を強化し、現地での認知を拡大してまいります。出店については立地を厳選し、上海以外の一級都市への出店を検討していく方針です。台湾では、自社ECのコンテンツを拡大し、お客さまとの接点を増やしていきます。

以 上